

令和3年度 事業計画書

一般事業

1. 京都會員講習会…R3年度 開催中止

- a. 開催場所 京都府
- b. 開催期間 1日間
- c. 内容 道場主及び各道場師範等の技術の向上を図るため、5月初旬の京都大会を機に集まった高段者の諸先生方に講師を委嘱し、実施する。
- d. 参加人員 200名

2. 地区剣道少年団研修会 地区体験発表会の促進を図る

3. 書道活動事業

剣道の精神教育（徳育教育）と少年剣士減少化対策の一環としての書道活動を行う。（全国研修会 一体験発表会 の際に実施）

4. 日本剣道少年団 表彰部門

4月から12月末までに行った剣道少年団活動の報告を受け、その内より優秀なる a 剣道少年団団員 94名 b 剣道少年団顧問（道場主）47名をそれぞれ表彰する。

5. 少年剣士勧誘ポスター等の作成

少年剣士減少対策の一環として作成。各道場の少年剣士確保に貢献する。各道場への配布等を行う。

6. 登録制度（ワッペン）

登録を受けた者に、剣道着につけるワッペンを配布し、少年剣士としての自覚と誇りを涵養し併せて先輩後輩の繋がりの交流を図る。

少年剣士人口把握、少年剣士増員対策の一環。

7. その他

毎日新聞社の特別後援事業—全国大会及びレディース大会

少年剣士会員証の発行

会員名簿作成（隔年事業 令和3年度 実施予定）

特別事業

1. 全日本少年剣道錬成会館運営事業

会館建設の趣旨を体し、その適正運営を行う。

会員道場による少年剣士合宿の使用、近隣の青少年及び婦人部・壮年部を対象とする剣道指導。

以上

事業計画書（日本財団助成事業）

事業名 剣道の普及振興

実施者 （一財）全日本剣道道場連盟

1. 普及事業の目的

全国に散在する 2,250 余剣道道場を通じて、日夜剣道を学ぶ約 10 万余に近い青少年に剣道の特性に対する理解と伝統文化剣道による日本人としての感性を育み、その人間性を高揚させる。そのために各種大会の開催並びに剣道少年団活動等を行い、もって国家繁栄のもとである青少年の健全育成と剣道の普及振興を図ることをその目的とする。

2. 普及事業遂行に関する計画

(1) 事業計画の内容

①. 剣道大会等の開催

名称	開催場所	開催期間	内容	参加予定人員	現況
a 全国道場少年剣道大会 (第 55 回大会)	おおきにアリーナ舞洲	2 日間	各地より選抜された少年剣士が技を競い合う少年剣道の年一度の大祭典。 毎年、皇室、文部科学省の臨席を得て開会式を行なう。 372 チーム他参加 (3 人制)	約 3000 名 監督含み 4 名	変更の必要があれば決定次第連絡
b 各都道府県道場少年剣道大会	各都道府県	1 日間	剣道大会を通じて各都道府県における、少年剣士間の相互の親睦と交流・錬磨を図る。併せて全国大会の予選会も兼ねる。	30,000 名	感染状況により各支部の判断に一任
c 第 38 回全国道場対抗剣道大会 全国道場少年剣道選手権大会 (第 45 回小中男子の部・第 38 回小中女子の部)	島根県	1 日間	各道場の少年剣士とその指導者の技術とその精神の向上並びに道場間の親睦を図る。 個人戦は、男女別、小学生・中学生の 4 部門で開催。 各都道府県の予選会を勝ち抜いた有力選手で行われる。	1000 名	変更の必要があれば決定次第連絡

②. 講習会等の開催

名 称	開催場所	開催期間	内容	参加予定人員	現況
a 全国選抜少年 剣道合宿錬成会 (第 59 回)	東京都(春) 錬成会館	3 泊 4 日	講師と少年剣士が一緒 に生活し、そこで剣と人 生を学ばせ、各都道府県 の少年剣士の範となる者 の育成を図る。	47 名	中止
b 剣道指導者研 修会 秋・春年 2 回	東京都(秋) 錬成会館 東京都(春) 錬成会館	2 泊 3 日	各道場指導者の資質の 向上と今後の少年剣道指 導方法の研究及び意見の 交換等を行い、少年剣道 普及に資する。	40 名 40 名	変更の 必要があ れば決定 次第連絡
c 地区剣道道場 指導者講習会 2 地区で開催	1、愛知県 (2022 年道場 対抗開催県) 2、山形県	2 日間 (土・日曜)	各地に本部からおもむ き、各道場の少年指導者 と意見の交換。更に相互 の研修を行なう。少年剣 道普及に資する。	各 50 名 延べ 100 名	変更の 必要があ れば決定 次第連絡

③ 日本剣道少年団

日本及び世界各地の剣道道場で剣道を学ぶ少年剣士が、剣道で学んだ精神の善用活動（奉仕・慰問活動）と国際交流等で、国際的視野を持った心身健全な青少年になるよう育成しようとするものである。

I 全国研修会（第 4 4 回体験発表会）

- a 開催場所 東京都 b 開催期間 1 日間
c 内 容 全国 9 地区代表による剣道を通じての体験実践発表会。
d 参加者 5 0 0 名

II 海外交流活動

剣道少年団活動の一環として海外少年剣士との交流。併せて日本少年剣士の国際感覚養成のため、派遣又は招聘予定。

団長 1 名、副団長 1 名、監督 2 名、少年剣士 1 6 名(選抜小・中学生)

事務局 2 名、合計 2 2 名

④ 各道場ホームページ事業と維持管理

道場連盟本部ホームページと各道場のホームページ(道場連盟の統一規格)

と連動させ、剣道を学ぶ少年並びにその保護者の便に寄与し、以って、少年剣士

の確保普及を図る。道場検索サイトの追加・更新等保守維持管理と連盟の活動及び各種大会等を公開発信していく。

各道場のホームページの掲載事項

- 1 道場名 2 館長名
 3 住所 地図と連携（リンク） 4 電話、メール
 5 稽古日 6 稽古場の外観と内部 7 指導方針、その他

(2) 実施の方法及び場所

連盟にて実施計画を作成のうえ実施する。

(3) 事業の実施の予定表

項目	期	1/4	2/4	3/4	4/4
剣道大会等の開催		各都道府県大会	全国大会 道場対抗		
講習会等の開催		少年合宿		指導者研習会 1 地区講習会 1	指導者研習会 2 地区講習会 2
日本剣道少年団活動			支部体験発表	地区体験発表	全国体験発表 海外交流 少年団表彰
ホームページ事業	通年		全国大会インターネット配信		

(4) 事業、成果の公表の方法

この事業はモーターボート競走公益資金による、日本財団の助成金を受けて実施した旨を明示するとともに、ホームページ、報道機関、機関誌等を通じて、一般に公表し、機会あるごとに利用者、関係者に対して周知徹底させる。

(5) 事業の開始及び完了の時期

開 始 2021年4月1日 完 了 2022年3月31日

3. 事業経費(円)

総 額 48,170,000 円 助成金額 48,170,000 円
 経 費 内 訳 (前年度 47,470,000 円 前々年度 43,700,000 円)
 費 目 金 額
 人件費 16,971,000 円 旅費 12,478,000 円
 物件費 12,342,400 円 事務費 458,000 円 雑 費 5,920,600 円